



ハートフルなんぶ

2025. 7月号 vol. 316



長野市立南部図書館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川 1201 番地

TEL (026) 292-0143

FAX (026) 292-0559

<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>

夏期学習室のご利用について

夏休み期間中は平日も 2 階大会議室を学習室として利用できる日があります。

7 月学習室開放日							8 月学習室開放日						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2
		休館日				開放						開放	開放
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
開放		休館日				開放	開放		休館日		開放	開放	開放
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
開放		休館日				開放	開放	開放	休館日	開放	開放	開放	開放
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
開放	開放	休館日				×	開放	開放	休館日			開放	開放
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30
×		休館日		休館日			開放		休館日			休館日	開放
							31						
							開放						

※ 学習室開放時間 午前10時～午後5時30分まで（時間厳守）

※ 室内では、蓋つきの飲み物以外の飲食はできません。

※ 2階の廊下で、昼食等の飲食が可能です。

※ ゴミは必ず持ち帰ってください。



- 『だいたいしあわせ』 阿川 佐和子／著・絵 晶文社 <914. 6ア>
『ヨシモトオノ』 吉本 ばなな／著 文藝春秋 <Fヨ>
『武闘刑事』 中山 七里／著 PHP 研究所 <Fナ>
『つくみの記憶』 白石 一文／著 双葉社 <Fシ>
『新しい法律ができた』 講談社／編 講談社 <Fア>
『皇后の碧』 阿部 智里／著 新潮社 <Fア>
『パズルと天気』 伊坂 幸太郎／著 PHP 研究所 <Fイ>
『谷川俊太郎のあれやこれや』 谷川 俊太郎／著 筑摩書房 <918. 68タ>
『なみまのわるい食べもの』 千早 茜／著 ホーム社 <914. 6チ>
『踊りつかれて』 塩田 武士／著 文藝春秋 <Fシ>
『水害と博物館』 川崎市市民ミュージアム／編著 求龍堂 <069ス>
『老いの壁』 和田 秀樹／著 きずな出版 <159ワ>
『マリー・アントワネットのお菓子』 大森 由紀子／著 創元社 <383オ>
『ちくわファンクラブ』 藤井 恵／著 誠文堂新光社 <596フ>
『岩合光昭の世界ネコ歩き』 岩合 光昭／著 クレヴィス <645イ>
『韓国ドラマ沼にハマって見たら』 角田 光代／著 筑摩書房 <778カ>
『世界の絶景パレット』 永岡書店編集部／編著 永岡書店 <290. 9セ>
『知識ゼロでも楽しく読める!睡眠のしくみ』 内村 直尚／監修 西東社 <498チ>
『大人の手編みハンカチ』 朝日新聞出版／編著 朝日新聞出版 <594オ>
『フライパンで卓ドンごはん』 橋本 彩／著 KADOKAWA <596ハ>
『学校では教えてくれない日本人のための英文法の授業』 小川 直樹／著 ナツメ社 <835オ>



新刊案内

『すばらしい空のを見つけかた』 武田 康男／写真・文 草思社 《451タ》
 『あおいほしのあおいうみ』 シンク・ジ・アース／編著 シンク・ジ・アース 《452ア》
 『アイスの旅』 甲斐 みのり／著 グラフィック社 《588カ》
 『Lady なデニム』 香田 あおい／著 文化学園文化出版局 《593コ》
 『藍を楽しむ和の小物』 グラフィック社編集部／編 グラフィック社 《594ア》
 『色の物語 青』 ヘイリー・エドワーズ＝デュジャルダン／著 翔泳社 《702エ》
 『世界が青くなったら』 武田 綾乃／著 文藝春秋 《Fタ》
 『パーマネント・ブルー』 橘 ケンチ／著 文藝春秋 《Fタ》
 『千個の青』 チョン ソンラン／著 早川書房 《929チ》
 『青と緑』 ヴァージニア・ウルフ／著 亜紀書房 《933ウ》
 『青い目のジャン』 ジャン・ジオノ／著 彩流社 《953シ》
 『青いパステル画の男』 アントワーン・ローラン／著 新潮社 《953ロ》

7月のテーマ 「青」

青い月

テレビから由紀さおりさんの歌声が流れていた。現在風に編曲された躍動感たっぷりの明るい曲調に由紀さんは体を動かして楽しそうに歌っていた。

その曲を聴いて、思い出す出来事があった。当時中学生だった60年ほど前に遡る。下校時にA君がいない。掃除当番をサボって早帰りした事が先生にばれ、先生は級長を呼び「今直ぐA君を連れ戻すように」と命じた。学校から家まで3キロ程ある。徒歩通学だからまだ家に辿り着いていないだろう。二人が戻るまでの間「残った全員で床を磨くように」といって先生は教室から出て行かれた。床に這うようにして汚れを刮げ落とした。薄汚い床が見違える程に綺麗になった。釣瓶落の秋の夕暮れ、外は段々と暗くなって帰りが心配になった。そこに二人が戻り下校となった。

校門を出て暫く行くと村に通ずる一本道に出る。両側は秋の刈り取りが終わり閑散とした広大な田園が広がり、周りの山々は薄墨色に塗り替わっていた。その道を級長とA君を含め5～6人が道いっぱいに広がり、先までの出来事は忘れたかのように、たわいない話をしながら歩いた。

その時に見た月を「青い月」と言うのだろうか。見上げた紺青の空に張り付いたような黄金色の丸い月が煌々と輝き、その光はそのまま地上に降り注いでいた。あんなに美しい月は今までに見たことがない。ちょっとした騒動の後だったから月の印象は特別だった。「青い月の光は、少年少女等の足下を照らし、照らされた道は白色に輝き村の先まで真っ直ぐ伸びていた。

寄稿：チュルル

2025年7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2025年8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

南部図書館 開館カレンダー

開館時間：午前10時～午後6時
 ■ は休館日です